

JICA タイ事務所とのオンライン交流

令和3年9月14日（火）

11:00~12:30



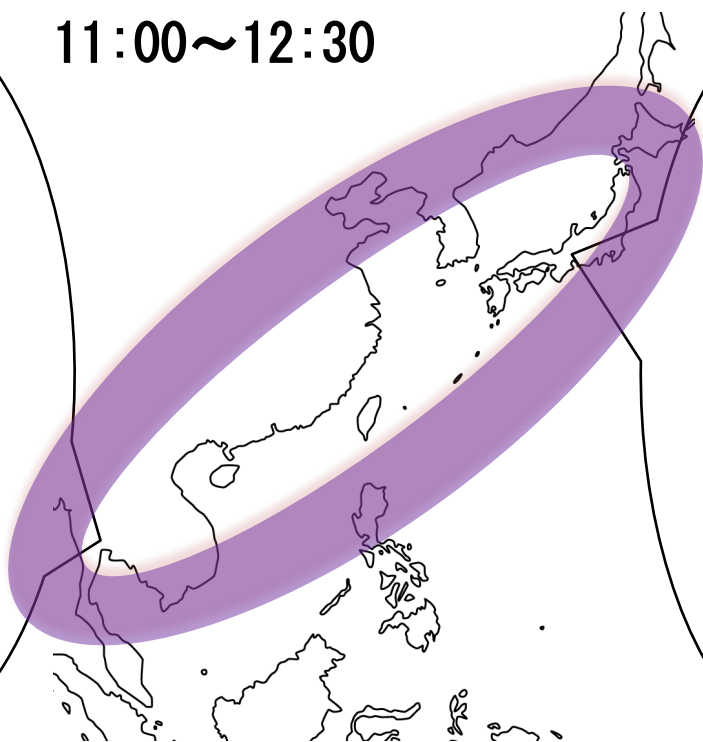
森田隆博所長



アーンさん



カヌンさん



今回のJICAとのオンライン交流は、本校卒業生、森田所長によるご厚意により開催された。とはいえ、タイでも新型コロナウイルス感染症がおさまらないため、森田所長はタイ事務所から、タイ人のナショナルスタッフ、アーンさんとカヌンさんはそれぞれの自宅からの参加である。なお、本校では2台のパソコンを使用。合計5つのデバイスによる一大イベントである。通信ツールはMicrosoft Teams。Teamsについてはこちらが不慣れのためJICA側が主催者という形で実施してもらった。

まずは服部校長の挨拶に始まり、タイと日本それぞれの参加者の自己紹介を行った。次にJICA側からJICAの概要や今後の見通しなどが英語で矢継ぎ早に説明があった。なかには、円借款の広報の話題も取り上げられやや難しい内容であった。またこちらから「SDGsに向けてタイの若者の反応はどうか？」という鋭い質問をする一幕もあった。

次に、本校から学校紹介を行った。アーンさんは東京学芸大学に、そしてカヌンさんは奈良県の高校に、それぞれ約1年の留学経験をもっている。日本の高校生活についてだけでなく日本の生活全般についてもよくご存じであった。一方で部活動には興味があり、様々なスポーツが学校でできることはやはり珍しいようで、生徒が所属している部についての質問があった。

最後に、ナショナルスタッフ2人に質問をした。アーンさんは日本で一番好きなのところとして、岐阜県の「冬の白川郷（右の写真）」をあげていた。タイでは決して降ることがない雪。その雪に埋もれた建物は、まるで日本昔話の一場面に飛び込んだ気持ちになるのかも。また、カヌンさんの日本での留学先は大和郡山市だったようで、「そこは金魚で有名。津島の南には弥富市という、これまた金魚で有名なのところがある。私よりも早く宇宙に行った金魚がいる。」など、共通項を見つけて話が弾んだ。次回はどんな話題になるのか楽しみである。

